



WE21ジャパン・グループ 2021年度 年次報告書

認定NPO法人 WE21ジャパン



環境 ・ 貧困 ・ 人権

「世界とのつながり」を考え・

世界で起きている資源の奪い合い、環境破壊、貧困、人権の問題は、

資源を大量生産・消費する私たちの暮らし方と密接につながっています。

WE21ジャパン・グループは、物質的な豊かさや効率だけを追い求める価値観を見直し、

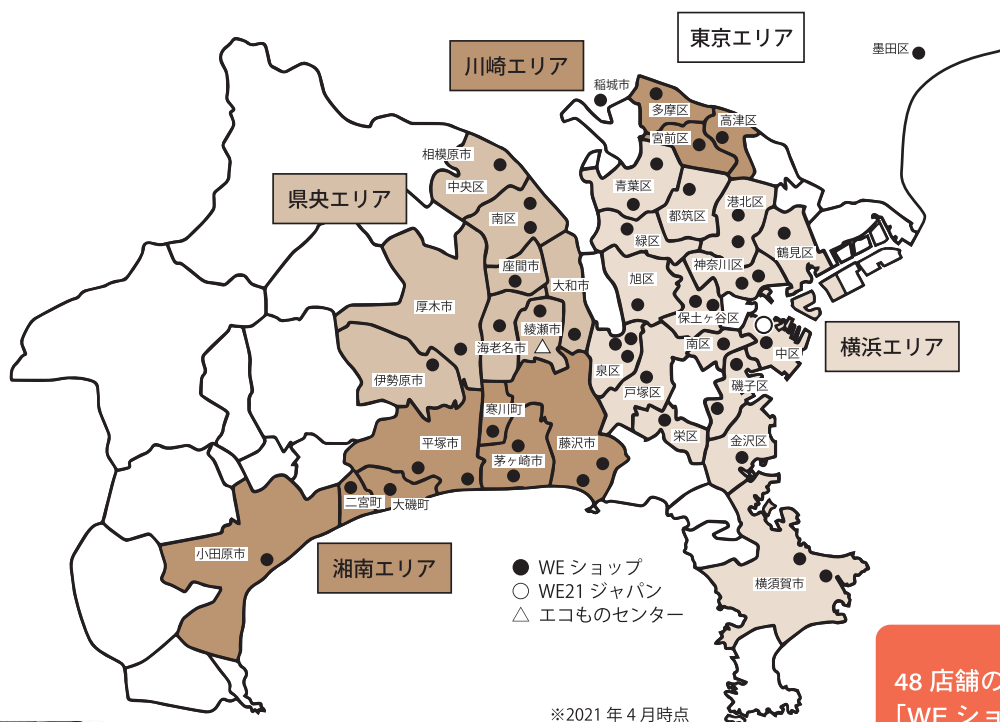
世界・社会の課題解決に向けて、一人ひとりが学び、考え行動して

地域から世界を変えるために活動しています。



「森育ちのしょうがパウダー」のフェアトレード事業は今年で13年目を迎えます。
売上はフィリピン山岳地帯の地域に暮らす人びとの健康を支えています。

行動する人を地域にひろげる



WE ショップさかえ店

WE21ジャパン・グループは、「WE21ジャパン」と36の「WE21ジャパン地域NPO」によって構成されています。

「WE21ジャパン地域NPO」は、1～3店舗のチャリティショップ「WEショップ」を運営しながらそれぞれNPOとして活動しています。

そして「WE21ジャパン」は、グループ全体の活動を推進しながら、中間支援組織としての役割を担っています。

ごあいさつ

「困難な時こそ知恵と人のつながりが財産に」

ようやく落ち着いてきたかと思われた新型コロナウイルスの再拡大、さらにサル痘の流行、世界中が新たな感染症に大きな影響を受けた2年間でした。

地域に根差した活動を展開してきたWE21ジャパン・グループも、売り上げの大幅な減少による経営難や、ボランティアの制限、WE講座やイベントの中止など、大変厳しい状況でした。

しかし、世界中でコロナ禍により医療格差、経済格差など多くの影響を受けている人たちがいるのに、見過ごすわけにはいかないと、WE21ジャパン・グループでは、感染対策を十分にしながら、WEショップの活動を再開しました。フード

ドライブへの参加や、地域の居場所づくりなど、地域での連携にも力を入れているWEショップが増えています。

WE21ジャパンも新たな事業展開としてより多くの方に知っていただくためのオンライン販売事業を開始いたしました。

人のつながりと知恵を出し合い乗り越えていくWE21ジャパン・グループの活動を、これからもご支援いただけたらと思います。

認定NPO法人 WE21ジャパン 理事長 海田 祐子

限りある資源を活かし、アジア

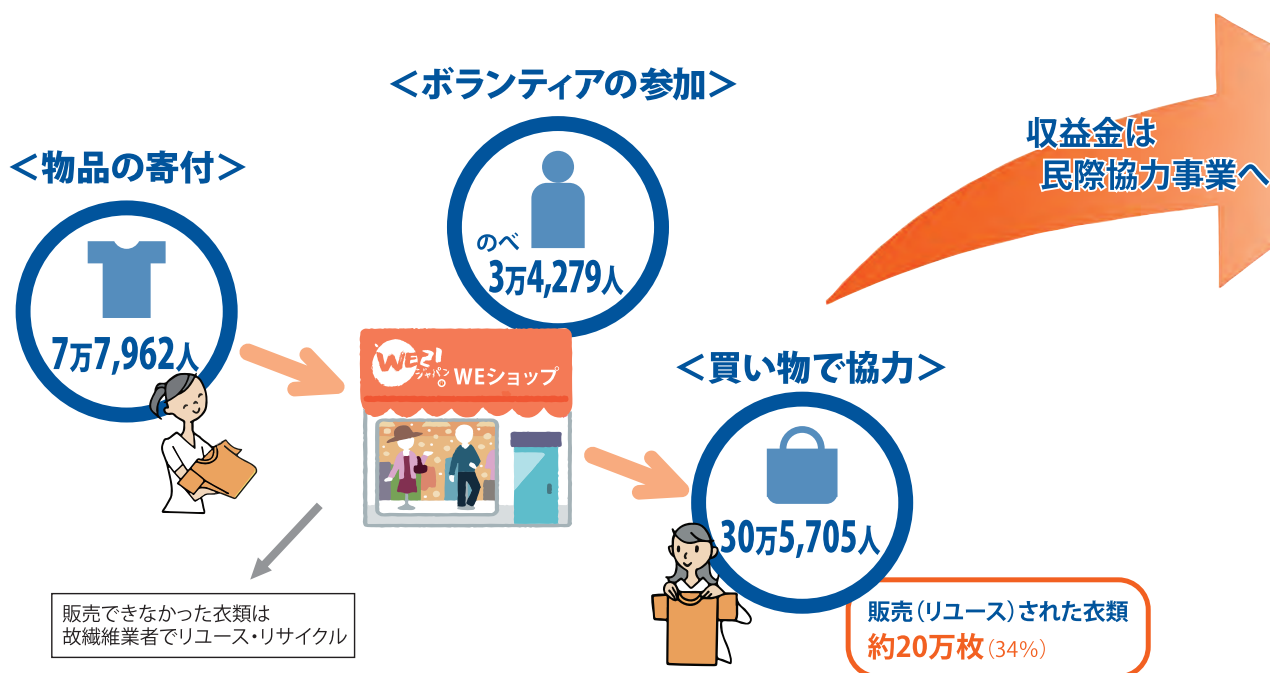
限りある資源の中で、私たちは大量生産・大量消費の生活を続けることはできません。チャリティショップ「WEショップ」を拠点に、市民から衣類や生活雑貨などの寄付を受け、リユース品やリメイク品、フェアトレード品を販売し、持続可能な暮らし方を提案しています。世界中で廃棄の削減と資源循環を一層広めることやフェアトレードの推進が求められています。



市民からの寄付品をボランティアで活かす市民事業

WE21ジャパン・グループでは、寄付された衣類などを直接海外へ送らず、神奈川県を中心とする「WEショップ」や様々なイベントで販売しています。品物は地域の皆さまに購入していただき、その収益でアジアを中心に現地で必要とされる支援プロジェクト

へ助成する活動を行っています。前年度に続きコロナ禍による影響は大きく、厳しい運営状況を強いられることとなった店舗もありました。下半期には感染症対策を充分に実施した上で「WEショップ」の活動を維持することができました。



寄付品販売総額 2億3,432万1,701円

※2021 年度実績

のべ3万4,279人のボランティアによって支えられ、合計48店舗のWEショップが各地で活動しています。地域で資源の循環を進めるために、市民の皆さまから多くの賛同と協力をいただき、年間7万8千件の物品寄付があり、年間30万人以上のお客さまのお買い物による総売上高は約2億3千万円にのぼります。販売によって約20万枚の衣類がリユースされ販売できなかった約100トンは、ファイバー(故繊維)として、提携する故繊維業者(ナカノ株式会社)へ搬入されます。ここでは原料に再生化するリサイクル、海外でリユース、工場などのウエスとして使用されるなど、最後まで活用されています。

を中心とする民際協力へ

WEショップ事業や寄付金・募金などによる2021年度の民際協力は、全体で総額1,826万5,544円でした。支援先は各WE21ジャパン地域NPOが決定し、世界20か国、132の支援プロジェクトで活用されました。アジアを中心に貧困を抱える人びとの自立を支援し、地域と地域を結ぶ平和な市民社会づくりをめざしました。16か国から公正な価格で購入するフェアトレード・物産品は、794万3,483円に上り生産者を支えました。

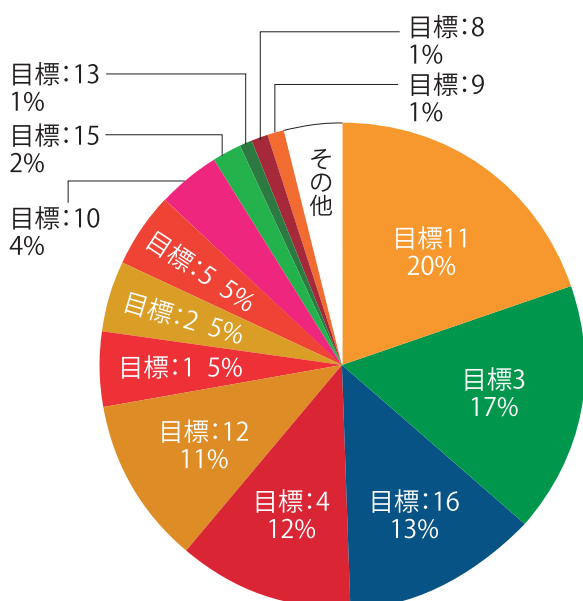


世界20か国、82団体、132プロジェクトへ支援

※2021 年度実績



助成プロジェクト SDGs 分野割合 (金額比)



WE21ジャパン・グループの2021年度の民際協力活動をSDGsの17の目標で見ると、「目標11:まちづくり」、「目標3:健康と福祉」、「目標16:平和と公正」の分野での支援が全体の5割を占めています。

「目標11:まちづくり」は東日本大震災からの復興支援などの国内支援、「目標3:健康と福祉」は主にイラク、シリア、パレスチナなど中東地域の子どもたちや女性への地域保健に関わる支援です。「目標16:平和と公正」はアフغانستان・パキスタンでの平和活動、ウクライナ危機緊急支援等が含まれます。WEショップでのフェアトレード品販売は「目標12:つくる責任 つかう責任」に含まれています。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 目標 11: 住み続けられるまちづくりを | 目標 5: ジェンダー平等を実現しよう |
| 目標 3: すべての人に健康と福祉を | 目標 10: 人や国の不平等をなくそう |
| 目標 16: 平和と公正をすべての人に | 目標 15: 陸の豊かさも守ろう |
| 目標 4: 質の高い教育をみんなに | 目標 13: 気候変動に具体的な対策を |
| 目標 12: つくる責任 つかう責任 | 目標 8: 働きがいも経済成長も |
| 目標 1: 貧困をなくそう | 目標 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 目標 2: 飢餓をゼロに | その他 |
- SDGs = 持続可能な開発目標

1 リユース・リサイクル環境事業

大切な資源を活かすリユース・リサイクル、そしてリメイク

市民から寄付された衣類を中心に食器・バッグ・靴・着物・生活雑貨などを「WEショップ」で販売し、品物をもう一度使うリユース・リサイクルによって資源の循環を推進しています。また、使用済み天ぷら油・携帯電話・羽毛製品を回収し、リサイクルにつなげました。

WEショップを通した資源の地域循環



WE21 ジャパン 地域 NPO

■衣類のリユース・リサイクル

WEショップやイベントでの販売により、リユースされた衣類は**寄付品全体の34%で52.6トン**にのぼりました。**販売できなかった66%**は、反毛フェルトやエコ手袋などへのリサイクルや、海外へ古着としての輸出など、**リユース・リサイクルして活用**されました。
(協力:ナカノ株式会社)



■ガラス食器・陶磁器のリサイクル

WEショップで販売できなかった**ガラス食器・陶磁器4.9トン**のうち、軟質ガラスはビンへの再生や断熱材となるグラスファイバーなどへ、有色・硬質ガラス・陶磁器は道路の路盤材などへ再資源化されました。
(協力:有限会社飯室商店、木村管工株式会社)



■天ぷら油のリサイクル「WE油田」

20店舗のWEショップと公共施設の計21か所で**3.9トン**の**天ぷら油**を回収し、車の燃料(植物性軽油代替燃料=VDF)、石けん、塗料、肥料などへリサイクルされたほか、自然再生エネルギーの電力としても生まれ変わりました。**CO₂削減量は10.2トン**にのぼりました。(協力:株式会社ユーズ「TOKYO油田2017」)



■携帯電話のリサイクル「めぐりケータイ」

8団体のWE21ジャパン地域NPOとWE21ジャパンで**175台**の**携帯電話**を回収しリサイクルを進めました。携帯電話・小型家電に含まれる貴金属(金・銀・銅など)は再生され、売却収益はフィリピンの鉱山跡地の環境回復事業に活用されました。
(協力:株式会社三光金属)



■羽毛製品のリサイクルで資源を活かす

ダウンジャケットや布団などに使われる羽毛は大量生産され、短いライフサイクルで廃棄されています。27店舗のWEショップが**873点(372.8kg)**の**羽毛製品**を回収し、リサイクルにつなげました。**CO₂削減量は656kg**にのぼりました。(協力:Green Down Project)



寄付された羽毛製品は袋に入れて専用の工場へ

■“古布のリメイク”を広める

寄付された衣類や古布・着物から、小物やバッグ・衣服をつくる「リメイク」を24団体のWE21ジャパン地域NPOで行いました。コロナ禍で活動を縮小しながらも、新たな作品づくりやほどいた着物の布地販売など、ショップの収益や活性化につなげました。



寄付されたフェルトを使用して「和菓子」モチーフのリメイク作品づくり(WE21ジャパンたかつ)

■販売できなかった衣類を紙にリサイクル

今年度 WE21 ジャパンは、綿生地から紙を作る事業で繊維の循環システムを推進する、一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー (CCF) のパートナー団体となりました。WE ショップで販売ができなかった衣類のうち、白の綿生地の衣服、タオル、シャツ等を紙に作り替え、再資源化する新しい取り組みを 2022 年度から開始します。

WE21 ジャパン

■物流拠点 「WE21ジャパン・エコものセンター」

個人・企業・団体からの寄付品は、WE21ジャパンの物流拠点「WE21ジャパン・エコものセンター」に保管され、その数は常に約7,000箱におよびます。

エコものセンターではボランティアを中心としたエコものワーキングチームが届いた寄付品の仕分け作業を行っています。物流を企業組合ワーカーズ・コレク



WE ショップの物流拠点「エコものセンター」
(神奈川県綾瀬市)

ティブ・キャリアに業務委託し、WEショップへの配送や、販売できなかった衣類の故繊維業者への搬入を行っています。

■倉庫deバザー

11月より月に一度、第3水曜日を開催日として「倉庫deバザー」を開始しました。大規模イベントの「WEフェスタ」の開催をコロナ禍で見送っている中、感染対策を十分に施し、WE21ジャパン・エコものセンター前の駐車スペースで近隣の方々へWE21ジャパンの活動をアピールしています。



近隣の住民や工場で働く方などにぎわう「倉庫 de バザー」

■WE21ジャパンオンラインショップ

WEショップのない地域にお住まいの方や、日中お仕事をされている方、ネットショッピングでのお買い物に慣れている方などを対象とし、オンラインショップ事業を開始しました。設備を整え、2022年1月にWE21ジャパンオンラインショップを開設し、WEショップをこれまで利用したことのない方にお買い物をしていただけになりました。



2021年度 WE21ジャパン地域NPO別事業実績一覧

(2021年4月～2022年3月)

地域NPO名 (ショップ数)	事業高 (円)	物品寄付 (件)	お客さま (人)	ボランティア (延人数)	地域NPO名 (ショップ数)	事業高 (円)	物品寄付 (件)	お客さま (人)	ボランティア (延人数)
厚木 1	18,325,386	3,221	20,323	764	藤沢 2	10,614,597	4,213	16,309	1,169
相模原 3	15,415,000	3,470	17,113	2,433	ちがさき 2	8,206,128	2,929	11,128	277
海老名 1	6,195,446	2,423	6,462	869	おだわら 1	4,890,250	1,738	6,979	152
大和 1	4,765,820	1,354	7,458	1,248	寒川 1	5,352,470	2,414	9,171	1,048
ざま 1	3,878,310	1,035	5,177	567	青葉 2	13,726,553	4,866	15,873	1,613
伊勢原 1	5,248,440	1,991	8,720	858	かながわ 2	9,481,385	2,771	12,547	1,572
あやせ 1	2,279,909	617	3,392	170	ほどがや 2	10,086,502	2,520	12,933	1,413
いずみ 3	13,766,992	4,535	18,835	3,171	旭 1	5,870,547	2,156	7,637	1,096
いそご 2	6,925,920	2,556	9,075	651	みどり 1	5,480,572	2,178	7,297	824
かなざわ 1	5,579,571	1,836	7,808	122	つるみ 1	4,158,390	1,622	6,140	785
とつか 1	2,567,135	580	2,538	883	都筑 1	4,269,965	1,637	5,399	447
さかえ 1	2,961,489	1,281	5,171	1,190	こうほく 2	13,385,782	4,478	16,316	1,961
みなみ 1	4,266,620	990	4,796	559	たかつ 1	5,495,685	2,619	7,530	783
なか 1	3,395,844	1,141	4,414	863	たま 1	3,144,088	1,265	4,246	943
よこすか 2	7,876,529	2,321	11,475	1,199	みやまえ 1	3,335,510	1,199	3,959	256
ひらつか 2	7,900,030	4,196	11,114	2,744	あさお 1	5,410,373	2,674	8,325	993
おおいそ 1	2,292,154	223	833	212	すみだ 1	2,739,949	1,138	3,150	144
にのみや 1	5,032,360	1,775	6,062	300	合 計 48	234,321,701	77,962	305,705	34,279

2 民際協力事業

WE21 ジャパン・グループ 2021 年度

アジアを中心とした世界の人びとへの支援

アジアを中心に世界25か国で、貧困を抱える人びとの生活向上と自立を支えるとともに、市民どうしの顔の見える関係を深める交流活動を展開しました。近年は、日本国内で貧困を抱える子どもたちや女性への支援にも取り組んでいます。

WE21 ジャパン地域 NPO2021 年度 NGO/NPO 助成支援ワールドマップ



民際協力事業

WE21 ジャパン 地域 NPO

■NGO／NPOへの助成

コロナ禍の影響が続き支援金額は引き続き減少傾向でしたが、アフガニスタン、インド、カンボジア、フィリピンなどのアジア地域を中心に、イラク、シリア、パレスチナなどの中東地域、ブルキナファソなどのアフリカ地域、ロシアの侵攻を受けたウクライナ等で支援活動を行うNGO／NPOに助成支援を行いました。

内容は、子どもたちの教育や女性への地域保健支援を中心に、紛争地域での難民支援や農村地域での生計向上支援など、多岐にわたりました。



村の幼稚園事業で子どもたちの様子
(写真／幼い難民を考える会)



JIM-NET ハウスでの英語の授業の様子
(写真／JIM-NET (日本イラク医療支援ネットワーク))

■フードドライブ ～食の支援を必要としている人へ～



食品の寄付を募るフードドライブをWEショップで実施しました。16店舗で回収した食品をフードバンクかながわ、フードバンクかわさき等地域のフードバンク、社会福祉協議会、こども食堂、自立支援施設などに届けました。

WE ショップ旭店で実施されたフードドライブ (WE21 ジャパン旭)

■フェアトレードで暮らしを支える

アジアを中心に、アフリカや中南米などから仕入れたフェアトレード品をWEショップやイベントなどで販売し、人びとの暮らしを支えました。

今年度もコロナ禍の影響が生産地とWEショップに及ぼ中、活動を継続しました。生産地とのオンラインツールでの交流も行われ、WEショップでは継続取引を理念とする



フェアトレードを止めないよう、様々な販売活動が行われました。

WE ショップみなみ井土ヶ谷店でのフェアトレードフェアでは児童労働撤廃の問題を合わせて取り上げた (WE21 ジャパンみなみ)

■支援先報告会とオンライン交流

オンラインツールも活用しながら、支援先NGOのスタッフを招いた報告会や講座を開催しました。WE21ジャパンほどがやでは、アフガニスタン、パキスタンで平和教育の活動を行うNGOのスタッフから、紛争地で市民が実践する平和のための活動について話をうかがう報告会を行いました。報告会後は想いを寄せるための写真アクションも行われました。



平和村ユニテッドのWE 講座後にアフガニスタンへ想いを寄せた記念写真を撮影 (WE21 ジャパンほどがや)

《支援先報告会・WE講座》

●アフガニスタン

平和村ユニテッド WE講座「アフガニスタン緊急-戦争で親を亡くした子どもたちに平和を！」(相模原)

●インド

ACE「児童労働を教育へ変る、インドのコットン生産地のコミュニティ参加促進プロジェクト」報告会(都筑)

●ガーナ・日本

アフリカヘリテイジコミティー WE講座「アフリカヘリテイジコミティーからの報告」(青葉)

●カンボジア

CYR「村の幼稚園事業」報告会(いせはら、かながわ)

●ネパール

ベルダレネーヨ「カンチャンジャンガ紅茶農園の子ども達への奨学金支援」報告会(厚木)

●パレスチナ

地球のステージ WE講座「コロナの時代をどう生きるか?!」(いずみ)

JVC「ガザ地区の子どもの栄養改善支援」報告会(旭、にのみや、みなみ、海老名)

●フィリピン

NEKKO「フィリピン 貧しい母子のための診療所/先住民アエタの村での子ども教育支援」報告会(青葉)

●南スーダン

JVC「避難民キャンプの子どもの就学拡大と女性の生計向上支援」報告会(藤沢)

●ミャンマー

Act for Child「クーデター下、コロナ禍の子ども達への教育支援」報告会(いそご)

SVA「タイ国境にあるミャンマー難民キャンプの図書館事業」報告会(厚木)

ジュマ・ネット「インド・アッサム州のマイノリティ支援事業」報告会(いずみ)

JCB「ミャンマー・カヤー州における地雷犠牲者に対する緊急支援」報告会(いずみ) ほか

WE21 ジャパン

■フィリピンとのフェアトレード事業と開発教育

フェアトレードを通して、フィリピンの山岳地域で暮らす先住民族の人びとの自立を支援しました。また日本国内で責任ある消費行動を広げていくため、フェアトレードの開発教育に取り組みました。

●「森育ちのしょうがパウダー」のフェアトレード

フィリピン・ベンゲット州カパンガン郡で暮らす先住民族の人びとが生産した「森育ちのしょうがパウダー」を、パートナー団体(シュントック財団)と連携して輸入し、フェアトレード品として日本で販売を行いました。2021年度はオンラインイベントを多く開催し、11月から12月にかけてフィリピンチャリティイベント実行委員会の主催で「Kumusta ka na Philippines?」「脂肪を燃やして国際協力～チャリティフィットネス」を開催しました。2月には日本と生産地をオンラインツールで繋ぎ「森育ちのしょうがパウダー生産地とつながる!オンラインスタディツアー」を開催。参加者と生産地の方々の間で交流を深め、フェアトレードへの理解を深めることができました。

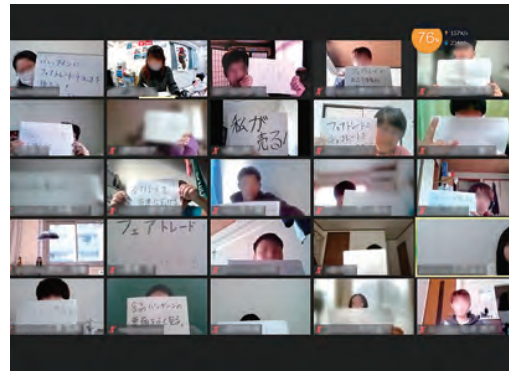


オンラインスタディツアーで生産者の方たちと2年ぶりの交流

*** WE21ジャパンの民際協力実績251,014円
(フェアトレード・物産品仕入費)**

●フェアトレードの開発教育

開発教材「今日はフェアトレードの日!?!-本当にフェアな関係とは-」の販売活動と、開発教材を活用したワークショップを d-lab2021 (開発教育協会 (DEAR)) (11月)と関東学院大学(12月)で実施しました。また、教材を「森育ちのしょうがパウダーバージョン」にアレンジし、フェアトレードの理解を深めるワークショップを地域NPOにて開催しました。



関東学院大学でのオンラインワークショップ(40名参加)



環境に配慮したパッケージにリニューアルした「森育ちのしょうがパウダー」



ハンディキャップを持った方々への支援にもつながる「森育ちのしょうがクッキー」(協力:夢21福祉会まどか工房)

■貧困支援の知見を活かす 韓国との経験交流

韓国の慶尚南道地域で生活困窮者の自立支援を行う「慶南地域自活センター協会」と、日韓で共通する貧困問題の支援について知見を共有する経験交流を行いました。5月に総会記念講演会「生活困窮者の自立支援について慶南(韓国)神奈川(日本)それぞれの地域から考える」を開催し、日韓経験交流での学びを会員、地域市民、地域団体へと広げました。地域間交流も開催し、8月は「日韓の生活困窮者支援を制度から考える学習会」で寿町で活動することぶき協働スペースとの交流、9月にはWE21ジャパン・グループが行う、環境活動、アップサイクル、リメイク、グリーンダウンプロジェクトを紹介する交流をコーディネートしました。



総会記念講演会で日韓経験交流での学びを共有

3 政策提言活動

WE21 ジャパン 2021 年度

社会のしくみを変える市民の力を高める

地域から平和な社会づくりを進めるために講演会や講座を実施し、世界で起きている様々な問題を市民に発信しました。

WE21 ジャパン

■持続可能な環境づくり

●WEショップ活動の環境価値

環境省「ファッションと環境」(2021年度発行)などをもとにWE21ジャパン・グループの衣類のリユースの現状を分析し、サーキュラーコットンファクトリー参加のための資料を作成しました。

■地域からの平和な社会づくり

●WE講座

「軍事クーデターから6か月
ミャンマーの市民社会は今？
～私たちにできること～」(特
非)地球の木、(特非)まちづく
り支援センターかながわ(アリ
スセンター)共催(8月)



核兵器廃絶を訴える
高橋悠太氏(KNOW NUKES
TOKYO共同代表)

「戦争被爆国日本の役割を考える 核兵器廃絶をめざして～行動する若者からの提言～」(2022年2月)

●声明への賛同

共同声明「ミャンマー国軍を利用する日本政府の経済協力事業を直ちに停止するよう求める」(4月)「日本政府はミャンマーに対する経済協力事業の全面的な見直しを」(6月)

声明「アフガニスタン情勢におけるWE21ジャパン・グループの共同メッセージ」(9月)

「NO WAR! NO NUKES!WE21グループはいかなる理由であっても武力行使に反対します。」(2022年3月)

4 ともに学ぶ—共育(ともいく)活動 WE21ジャパン・グループ 2021年度

世界の課題、日本の課題を学びあう場づくり

世界や社会の課題にふれ、知るためのイベントやキャンペーンを企画し、多様な学びの機会をつくりました。

WE21 ジャパン 地域 NPO

■貧困なくそうキャンペーン



店内では児童労働の問題を取り上げた掲示やクイズ企画などを実施
(WE21ジャパンよこすか)

10月16日の「世界食料デー」、17日の「貧困撲滅のための国際デー」に合わせて、「貧困なくそうキャンペーン」を開催。講座や写真・パネル展示、「WEショップ」の売上金の寄付などを行いました。

WE21ジャパンよこすか(横須賀市)では、「児童労働をなくそう!児童労働は私たちの生活と結びついています」キャンペーンを実施。10月15日の売上全額を、インドやガーナでの児童労働の解決に取り組むNGO、ACEへ寄付しました。

■3.11を忘れないキャンペーン

東日本大震災から11年目の2022年3月に「3.11を忘れないキャンペーン」を実施しました。WE21ジャパン青葉(横浜市青葉区)とかながわ(同神奈川区)、都筑(同都筑区)、みどり(同緑区)が共同で、ドキュメンタリー映画「希望へのいのち—吉沢正巳というおのこ」(板倉真琴監督)の上映



会を開催。上映後には国による被ばく牛の殺処分勧告に抗い、原発問題を訴える活動を行う吉沢正巳さんと板倉監督との対談を行いました。

2022年3月26日に開催した上映会
(WE21ジャパン青葉、かながわ、都筑、みどり)

■平和・人権のためのキャンペーン

世界で起こっている課題や困難を身近に考え行動に移すため、平和や人権を守るキャンペーンを行いました。7月に「子ども買春・子どもポルノ禁止法」の改正を求める請願書の署名活動へ協力し、832筆を提出しました。



メッセージ掲示と募金を実施
(WE21ジャパンいそご)

9月には政変下のアフガニスタンの人びとに寄り添うための写真やメッセージをSNSで公開しました。2022年2月以降のウクライナ紛争に対しては、武力行使に反対するメッセージをWEショップで掲示し、募金活動を実施しました。

5 広報活動

WE21 ジャパン 2021 年度

WE21 ジャパン・グループの活動を広くアピールする

WE21 ジャパン・グループの多岐にわたる活動を広く市民に伝え、WE ショップ・イベント・講座など様々な活動や学びの場への参加を促し、ともに行動する人を地域に広げました。

WE21 ジャパン

広報ツール

- WE21ジャパンリーフレット
- WEショップリーフレット
- 広報誌『めぐりめぐるNo.81:人や物、思いがつながる めぐりめぐる循環する社会へ』
- 2020年度年次報告書
- HP、facebook



記事掲載

- 女性セブン10月28日号「その不用品、捨てる前に寄付してみませんか？」寄付先団体への掲載
- 参加システム7月号「韓国と日本両国から『貧困』に対してできることを考える」(発行:参加型システム研究所)掲載
- 参加システム11月号 書評「憲法への無意識」(発行:参加型システム研究所)
- かながわ民際協力基金助成団体インタビュー(2021年11月15日)『『女性の力』でさまざまな世界の課題を『地域』から考え、取り組む』

年に一度のチャリティバザール「WEフェスタ」

コロナ禍を考慮し、2020年に続きチャリティバザール「WEフェスタ」は中止となりました。年に1度、バザーやフェアトレード販売、その他NGO/NPO団体のさまざまな活動の紹介などを楽しんでいただくイベントでしたが、断念せざるを得ませんでした。多くの方々からご提供いただいた寄付品は、WEショップ、倉庫deバザー、WE21ジャパンオンラインショップを通して販売させていただきました。WE21ジャパン・グループ全体の活動を一堂に広くお伝えできるWEフェスタは、来年度以降の再開に向けて可能性を探っていきます。

講演・イベント参加

- 「SDGsよこはまCITY」オンライン出展(11月、2022年2月)
- 研究フォーラム2021「withコロナの時代と生命や生活を大切にする経済・社会～アソシエーションが主役の社会への展望～」出席(12月)

6 組織基盤強化

WE21 ジャパン 2021 年度

～ WE21 ジャパン・グループの組織基盤を強化する

WE21 ジャパン地域 NPO の運営支援や WE21 ジャパン・グループの連携促進を行いました。

WE21 ジャパン

■WE21ジャパン地域NPOの運営支援

コロナ禍でのWEショップの感染症対策やNPO法人運営についての情報支援、グループ内でのイベント情報などの共有や新しい取り組みの開始に向けた学習会などを実施しました。

《研修》

- 基礎研修(6月、11月)

《連携促進》

- WE21ジャパン・グループ会議(7月、11月、12月、2022年2月)
- サーキュラーコットンファクトリー(CCF)学習会(11月)

■WE21ジャパンの組織強化

WE21ジャパンは、コロナ禍など外部環境の変化を受け、特に財政面において厳しい状況が継続しています。将来に向け持続的な組織への転換が求められており、今年度は日本ファンドレイジング協会が提供する国際協力NPO基盤強化支援事業へ参加しました。専門家の支援を受け組織診断、課題の抽出及び整理を行い、長期目線での組織の立て直しと活動の更なる発展を狙います。同時にファンドレイジングスクールの受講により、資金調達の専門知識を持つ事務局スタッフの育成を図りました。

ネットワーク活動

WE21 ジャパン

●日本チャリティーショップ・ネットワーク(JCSN)
行政や企業、市民の方々に「チャリティーショップ」の認知を広げていくため、チャリティーショップの特徴や雰囲気を紹介するイメージ動画「人、モノ、想いをつなぐチャリティーショップ」を作成しました。



- 横浜NGOネットワーク
「SDGsよこはまCITY」オンライン開催
- 日比NGOネットワーク(JPN)
- 東日本大震災復興・支援ネットワーク神奈川
被災地の物産品を応援購入
- その他ネットワーク活動
 - ・参加型システム研究所
 - ・市民活動エンパワメント連絡会
 - ・遺贈寄付相談・市民ネット
 - ・かながわ生き生き市民基金
 - ・エシカルケータイキャンペーン実行委員会
 - ・消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク
 - ・NGO非戦ネット

ボランティア

WE21 ジャパン

コロナ禍の影響もありましたが、大学生の短期インターン、地域市民のボランティアの方々の協力を得て活動を進めることができました。(アクションポート横浜などから短期インターン2名、長期インターン2名、ボランティア5名受け入れ)



長期インターン生と一緒にフェアトレード事業をアピールするイベントを企画

表彰・助成金

WE21 ジャパン

- (特非) 日本ファンドレイジング協会
- (公財) かながわ国際交流財団 かながわ民際協力基金アドバンスプログラム
- 経済産業省 神奈川県事業再構築補助金

支援者一覧

WE21 ジャパン

■物品寄付

- 個人 (585人・1,008件)
- 企業・団体 (24団体・61件)
 - ・アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. メンバーシップ保険デスク
 - ・株式会社マックスガイホールディングス
 - ・株式会社CORES
 - ・光葉貿易株式会社

■寄付金

- 個人 (87人・138件)
- 企業・団体 (5団体・5件)
 - ・MOG株式会社
 - ・株式会社 大川印刷
 - ・株式会社アールケイエンタープライズ
 - ・株式会社YNS
 - ・フィリピンチャリティーイベント実行委員会

2020年度より寄付プラットフォーム「Syncable」を導入しました。会員のお申込みや通常のご寄付受付の他、WE21ジャパンの事務局スタッフや理事によるバースデードネーション

(9月、2月、3月)に力を入れ、温かいご支援をいただくことができました。



■つなぐ書店「古本募金」

- 個人・団体 (15件)
- 12月からつなぐ書店「古本募金」に参加しました。

2021年度決算、2022年度予算

(単位:円)

		2021年度決算額	2022年度予算額		
I	経常収入	科 目	経常収益合計	30,996,667	35,835,100
		1	事業受託収入	21,794,229	22,252,000
		2	会費収入	2,920,000	2,680,000
		3	寄付金収入	1,405,515	1,200,000
		4	補助金・助成金	850,000	3,407,000
		5	自主事業収入	3,798,058	5,963,100
		6	その他	228,865	333,000
II	経常費用		経常費用合計	37,113,380	35,493,280
		1	事業費	34,002,961	32,112,493
			政策提言・共育事業費	1,123,750	1,567,925
			リユース・リサイクル環境事業費	19,883,915	18,888,600
			民際協力事業費	1,182,256	806,063
			支援販売事業費	3,306,438	3,179,943
			広報関連事業費	8,506,602	7,669,962
		2	管理費	3,110,419	3,380,787
II	経常外費用			0	0
	当期正味財産増減額			-6,116,713	341,820
	前期繰越正味財産額			13,490,135	7,373,422
	次期繰越正味財産額			7,373,422	7,715,242

●2021年度収支決算書 2021年4月1日～2022年3月31日 ●2022年度収支予算書 2022年4月1日～2023年3月31日

貸借対照表

(単位:円)

I 資産の部	資産合計	11,363,853	II 負債の部	負債合計	3,990,431
現金	214,404		未払費用	794,223	
普通預金	3,661,592		前受金	30,000	
未収収益	687,282		未払金	2,274	
未収金	191,773		預り金	54,934	
貯蔵品	665,625		仮受金	34,500	
フェアトレード品	426,248		未払消費税等	74,500	
商品	3,670		納税充当金	3,000,000	
立替金	59,906				
仮払金	44,797		III 正味財産の部	正味財産合計	7,373,422
什器備品	1,649,636		前期繰越正味財産	13,490,135	
電話加入権	255,120		当期正味財産増減額	-6,116,713	
出資金	1,000,000				
保証金	2,340,000		負債及び正味財産合計	11,363,853	
礼金	163,800				

●2022年3月31日現在

【補足説明】

1) 「1.事業受託収入」は、WE21ジャパン地域NPOからの事業受託にかかる収入です。

WE21 ジャパン理事・会員

(2022年3月31日現在)

理事長 海田 祐子 特定非営利活動法人WE21ジャパン都筑 運営委員
 副理事長 園田 久美子 特定非営利活動法人WE21ジャパンほどがや 運営委員
 理事 清水 研 特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター 理事
 一般社団法人森のきょうしつ 代表理事
 田代 由美子 特定非営利活動法人WE21ジャパンかながわ 運営委員
 野徳 恵子 特定非営利活動法人WE21ジャパン藤沢 代表
 今関 喜代子 特定非営利法人WE21ジャパンなか 代表
 鈴木 久子 特定非営利法人WE21ジャパンたま 代表
 小池 絢子 特定非営利法人WE21ジャパン 民際協力室
 監事 大川 哲郎 株式会社大川印刷 代表取締役
 高岡 まさみ 特定非営利活動法人WE21ジャパン相模原 運営委員

■ 職員 常勤スタッフ／1名 非常勤スタッフ／4名

■ 会員 個人会員／86名・団体会員／49団体

・正会員 個人56名、団体42団体

・賛助会員 個人30名、団体7団体

■ 会員として参加・加盟している団体
 日本チャリティーショップ・ネットワーク
 (特活)国際協力NGOセンター
 (特活)横浜NGOネットワーク
 (特活)アクションポート横浜
 (特活)アジア太平洋資料センター
 (一社)SDGs市民社会ネットワーク
 (特活)開発教育協会
 (公財)かながわ生き生き市民基金
 (特活)参加型システム研究所
 (特活)日比NGOネットワーク
 (特活)日本国際ボランティアセンター

WE21日本の活動は、皆さまのご支援に支えられています。

ご寄付の方法

【クレジットカード】

ホームページで受け付けています。

<http://www.we21japan.org>

【郵便振替】

口座番号：00270-9-67540

受け取り人名：(トクヒ)ウイニジュウイチジャパン



【他の金融機関からのお振込み】

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇二九店(ゼロニキュウ店)

預金種目：当座

口座番号：0067540

受け取り人名：(トクヒ)ウイニジュウイチジャパン

※他の金融機関からのお振込みの場合は、活動報告などをお送りするご連絡先(お名前・ご住所)をご連絡ください。

WE21日本は認定NPO法人です。当団体へのご寄付は、寄付控除の対象となります。



■ビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

■ミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に広げます。

そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできることから実践します。

2021年度 年次報告書 2022年8月30日発行

発行人：認定NPO法人 WE21日本 理事長 海田 祐子

発行所：認定NPO法人 WE21日本

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-1-1 天王町ファーストビル202

TEL:045-489-4223 FAX:045-489-4224 (2021年7月に移転)

E-mail:info@we21japan.org URL <http://www.we21japan.org>



これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野(組織運営・事業実施・会計・情報公開)について当団体が適切に自己審査したことを示しています。